



# 喜多流 自主公演

令和三年 十月

令和3年 10月24日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年 8月2日(月) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。


・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきます。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分會

後援: 品川区、品川区教育委員会

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興會

枕 夕 鬼  
慈 童 顔 界  
香 粟 金  
川 谷 子  
靖 浩 敬  
嗣 之 一  
郎

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

#### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂 HP にてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

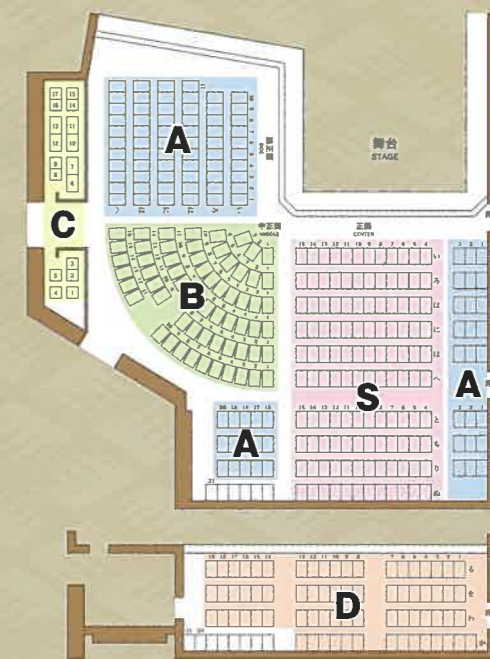


### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただけます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階階敷席) 6,500円  
A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円  
B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



能

シテ連・康頼 金子龍晟  
シテ連・成経 谷友矩  
シテ・俊寛 金子敬一郎

### 鬼界島

ワキ・赦免の使 則久英志

アイ・船頭 榎本元

大鼓 國川純  
小鼓 飯富孔明 笛 成田寛人

後見 塩津哲生  
松井彬

狩野祐一 佐々木多門  
佐藤寛陽 狩野了一  
佐藤寛泰 栗谷明生  
高林昌司 大島輝久

狂言

### 佐渡狐

シテ・佐渡のお百姓 大藏基誠

アド・越後のお百姓 大藏教義  
アド・奏者 小梶直人

休憩(二十分)

能

後シテ・夕顔の上の霊  
前シテ・女 栗谷浩之

### 夕顔

ワキ・旅僧 殿田謙吉

ワキ連・従僧 吉田祐一

ワキ連・従僧 小林克都

アイ・五条辺の者 吉田信海

大鼓 原岡一之  
小鼓 森澤勇司 笛 一噌幸弘

後見 内田安信  
谷大作

狩野祐一 高林呻二  
高林昌司 中村邦生  
友枝真也 大村邦定  
友枝雄太郎 友枝雄人

休憩(十分)

仕舞

籠太鼓

内田安信

塩津圭介  
長島茂  
大島政允  
佐々木多門

能

### 枕慈童

シテ・慈童 香川靖嗣

ワキ・勅使 福王和幸

大鼓 佃良勝  
小鼓 鶴澤洋太郎 太鼓 小寺佐七  
笛 藤田貴寛

後見 友枝昭世  
佐藤章雄

谷友矩 栗谷充雄  
佐藤圭陽 長島茂  
塩津圭介 出雲康雅  
友枝雄太郎 内田成信

附祝言

終了予定時刻 四時五十分頃

#### 鬼界島(きかいがしま)

平清盛の娘の中宮が天皇の子を宿した。この安産祈願のため、大赦(大罪のものも恩赦すること)が行われた。鬼界島の流人も恩赦されることとなり使いが鬼界島へ出向く。鬼界島には平家打倒の陰謀が露顕して流された、俊寛と丹波少将成経と平判官康頼の三人が居り、谷の水を酒とみなして酌み交わし昔の栄華を偲んでいた。そこへ赦免の使いが島に着き赦免状を成経に渡す。成経の読み上げる赦免状の中に自分の名が書かれていないことを知り俊寛は怒り喚く。納得がいかない俊寛は何度も赦免状を読み返すが、自分の名は書かれていない。やがて成経と康頼の乗せた舟が出ようとすると波に浸りながら綱(ともづな)にしがみつくと突き放される。一人残された俊寛は寂しく舟を見送るのであった。

(約七十分)

#### 佐渡狐(さどぎつね)

都へ年貢を納めに行く越後の百姓と佐渡の百姓が出会う。同じ百姓で気が合ったのか旅を続けると、越後の百姓が「佐渡には狐がいないだろう」と言う。悔しさのあまり佐渡の百姓は「佐渡にはたくさん狐がいる」と言い張り、刀を賭ける。しかし佐渡には狐はいない。狐を知らない佐渡の百姓は都の奏者(物事の取次をする人)に狐が佐渡にすることにしてもらおうことにするため賄賂を使って狐の姿を前もって教わる。両百姓が奏者に裁断を仰ぐと佐渡に狐がいることとなる。越後の百姓は刀を取られるが合点がゆかない。やがて館から出た後に越後の百姓は佐渡の百姓に「一つ質問をします」。

(約二十五分)

#### 夕顔(ゆうがお)

九州から旅を続けていた僧が京都の五条辺りを通ると、あずまやから女の歌声が聞こえる。僧が声をかけると女は、こは「源氏物語」に書かれた「何某の院」であるという。更に女は、夕顔と光源氏が結ばれた時のことから、何某の院に泊まった夜に夕顔が物怪に憑かれて亡くなってしまったことを語り、姿を消す。(中入)僧が読経をして弔っていると、夕顔の霊が現れて、恣に落ちて心を奪われたこの迷いを晴らしてほしいと僧に頼み、昔を思い出して舞を舞うと、妄執を離れて成仏できることを喜び消え去るのであった。

(約九十分)

#### 枕慈童(まくらじどう)

魏の文帝に仕える大臣が、中国の酈県山の麓に薬水の水源があるとのこと、その水上を見て参れと宣旨を受ける。勅使が山へ入ると山奥に一軒の庵を見つける。様子を伺っていると、中から美しい慈童が現れる。勅使は慈童が山奥にいたことが不思議なので化生の者と怪しむ。そこで慈童は、周の時代の穆王に仕えていたと名乗るが、周の時代は既に数代前の話、七百年も前の話だと勅使はさらに怪しむ。慈童は、そうはいうが皇帝から賜った、法華経の妙文を記した枕があるといつて見せる。そして自分は、皇帝の枕をまたいでしまった罪でこの山に流されてしまったのだが、菊の葉に枕の妙文を写すと葉から滴るしずくが不老不死の薬となり、それによって自分が七百年も生き延びていることを話す。そして慈童は勅使の前で舞を舞い、菊水を勅使に捧げ、そのまま庵に戻っていくのであった。

(約六十分)

### 令和三年十一月自主公演番組予告

令和三年十一月二十八日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 九月一日(水) 午前十時

三輪 塩津圭介  
雷電 佐藤 陽